

陽だまり通信

季刊誌 Vol. 66
2019年11月18日発行



特集

① 園芸療法

② アマノ直送 地域へ

地域でのイベントや秋祭り

のぞみカフェで転倒予防教室

ウェレンギャング

全身振動刺激装置 Wellengang® が導入されました



<http://www.amano-reha.com/>

心が動く

東 芸療法

望海の里からのお便り

アマノリハビリテーション病院

リハビリ部 部長

川村美紀子

「あつ！ 金木犀の香りがする」
『柿が美味しい季節になつたなあ』
花や緑は人々の心を和ませ、
また野菜や果物も人々に季節感
を教えてくれます。私達は、自
然に生かされ、活力をもらつて
いる日々を送つていいのではない
でしょうか。

園芸には、草花をみたり、花
の匂いを嗅いだり、野菜に触つ
たり、育てる、採る、食べるなど、
人の感覚を利用して、興味を引
き、楽しみながら精神や身体を
刺激する要素、社会的健康を育
む要素が含まれています。

園芸療法とは、草花や野菜な
どの園芸植物や、身の回りにあ
る自然との係わりを通して、ス
トレス軽減、リラクゼーション
効果、意欲回復、認知や日常生活
能力を維持・向上させ、その
結果、心の健康、体の健康、社
会生活における健康的な回復を図
る効果がある療法といわれてい
ます。

現代の園芸療法の起源はアメ
リカで、日本に園芸療法が広がっ
たのは、約20年前といわれてい
ます。しかし、古代エジプトの
医者が患者に庭園散策をすすめ
ていたといわれるくらい古くか
ら活用されているという説もあ
ります。

園芸療法には、上記の効果に
加え、園芸活動は「楽しい」「やつ
てみたい」「好き」という思いで、
この「歩」を踏み出すための動
機つけが容易であるという特徴
があります。草花や園芸活動が
持つ楽しさや喜びなどの魅力が
動機つけとなり、「やってみたい」
と心が動き、園芸活動に取り組
んで身体を動かし、その結果、
心身が回復する、というような
好循環を生み出せるのも、園芸
療法の効果の一つです。

自然と係わることで
健康回復

園芸療法の効果は
「やつてみたい」と
「心が動くこと



細長い庭園を
鍬で耕しました

(兵庫県立淡路景観園芸学校
園芸療法課程ホームページより)



草抜きをする職員と
ボランティアの方

アマノの園芸療法は マレーシア直伝

今回、この園芸療法を医療法
人ハートフル望海の里で実践す
ることになりました。

園芸療法を実践する機会をつ
くつてくれたのは、マレーシアに
あるマラヤ大学のZaliha Omar
教授です。Omar教授は、約40年前
からマレーシアで地域リハビリテー
ションを発展させてきました。ハ
ーブを2種類植えました



ひまわりの植え替え作業



多数のボランティアの方に来ていただきました



園芸療法を実践する機会をつ
くつてくれたのは、マレーシアに
あるマラヤ大学のZaliha Omar
教授です。Omar教授は、約40年前
からマレーシアで地域リハビリテー
ションを発展させてきました。ハ
ーブを2種類植えました



ひまわりを植えました



ハーブを2種類植えました



収穫されたスイカでスイカ割りをしました



マラヤ大学のZaliha Omar教授



収穫されたスイカでスイカ割りをしました



アマノ
直送

地域へ



ポップコーン、原宿ドック、フランクフルトをご用意しました



フラダンスで南国気分に!



ダンスパフォーマンスグループPHPによるノリノリのダンス

2019.10.26 あまのコミュニティーケアプラザ LaLa スマイルデー



RED☆EYEさんの歌で会場はノリノリ



たくさんの笑顔と熱気あふれる会場



ボールいっぱいすくえたよ!



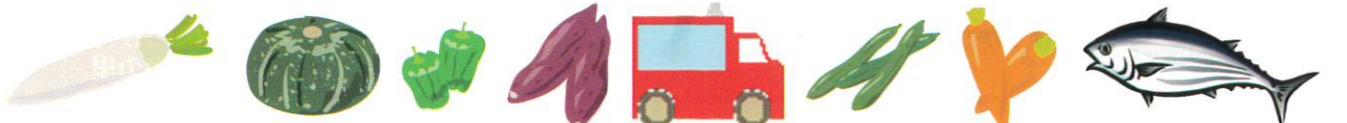
LaLaカフェで一息



お魚いっぱい釣れたぞ



民生委員さんによるバルーンアート



私たち医療法人ハートフルは、2019年7月～10月までの間、地域の様々なイベントに参加させていただいたり、秋祭りやLaLaスマイルデーを開催したりしました。

望海の里の職員が屋台などお手伝いさせていただきました。入居者の方は祭りに参加され大変楽しかったらしいいました。

新入職員が参加しYOSAKOIを踊りました。その躍动感のある踊りを見て会場の中にいる子供たちもおり、一緒に踊る地域の皆様と一緒に踊った時間が持つことができました。この祭りや同日開催された串戸地区夏祭りでも、当法人の看護師が救護所に待機し、お手伝いをさせていただきました。

例年は夏祭りとして暑い時期に開催していましたが、猛暑による熱中症予防のため今年は10月の開催に変更しました。

祭り会場ではホップコーンや原宿ドックなどを提供し、小さなお子さんから大人まで多くの皆さんに楽しんでいただきました。また今年もダンスパフォーマンスを披露していただきました。

2019.8.3 平良地区夏祭り



アマノリハビリテーション病院リハビリテーション部の新入職員たちがYOSAKOIを披露しました



アマノリハビリテーション病院の看護師(写真中央)が救護所にて待機しました



全身振動刺激装置

Wellengang® ウェレンギヤング

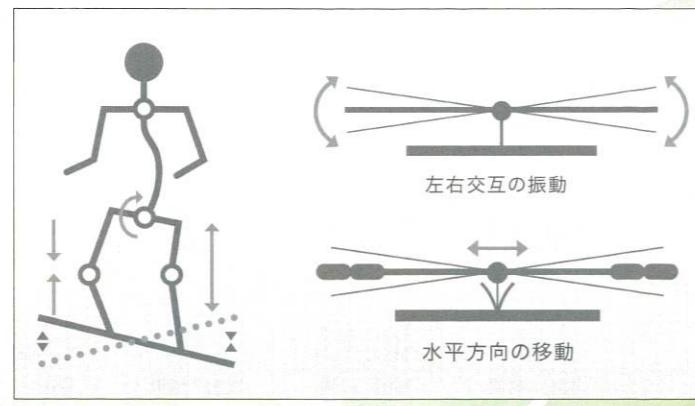
で効率良いトレーニングをしませんか?

アマノリハビリテーション病院に導入されました!

この度、アマノリハビリテーション病院に、全身振動刺激装置Wellengang® ウェレンギヤング（日本シグマックス）が設置されました。

「テレビの通信販売で売っているものでは?」「家電売場でみかけたことがある」との声が聞こえてきそうですが、当院に設置してあるウェレンギヤングは、次のような特長があります。

下図のように左右交互の振動に水平方向の微細な軸移動が加わる独自の機構で、右の写真では分かりづらいですが、小刻みに揺れています。



ウェレンギヤングの特長

●歩行を模した自然な動きに近い振動

振動により無意識下に起こる筋収縮を利用して筋力の向上をはかることができます。

●頭部への振動の伝達を抑える

●運動強度を自由に調整可能

●短時間で効率的な全身振動トレーニングができる

●目的に合わせた全身振動トレーニングが可能

身体に負担をかけない低振動と振幅の調整が可能ですので高齢の方でも無理なくトレーニングを行えます。

10Hzの振動を1分間で1200歩のウォーキングに相当

注意 当院に設置してあるウェレンギヤングを使用する場合は、医師の処方が必要となります。

認知症カフェで学ぶ

転倒予防教室

in 望海の里

アマノリハビリテーション病院 理学療法士 岡本 達郎

転倒は段差や食生活が原因のことも

9月22日に望海の里で開催された認知症カフェで「転倒予防教室」というテーマで講演をさせていただきました。望海の里に入居されている方や地域住民の皆様約20名の参加者をお迎えすることができました。

今回の講演では、高齢者に多く見られ、認知症とも密接に関係してくる「転倒」について、どうして転倒してしまうのか？そして、その予防法について参加者の方に実際に身体を動かしてもらいながら実技を行いました。

転倒予防という筋力トレーニングが主な対策として話題によくあがりますが、自宅の段差が多いなど、障害物の多い転倒しやすい環境になつてないか、バランスのとれた食生活ができているか、軽びににくい靴や服装を選んでいるかといったところも大切になります。また、トレーニングも筋力だけでなく、人間がもともと持っているバランス能力を高めることや、歩きながら話をする等の認知課題を処理する能力を鍛えるトレーニングも必要です。

大切なのは転倒予防する環境づくりと体づくり

講演の前半では「転倒を予防する環境づくり」についてお話しさせていただき、後半では「転倒を予防する体づくり」としてストレッチ体操、筋力トレーニング体操、バランス体操、持久力体操に分けて実技を中心に行い、転倒予防について理解を深めてもらいました。

転倒予防体操では、参加された皆様が積極的に体を動かして良い汗を流しておられる姿が印象的でした。また、体操中も皆様から「スクワットをするときは膝をつま先よりも前に出したときと出さない時で効果が違ってくるのか」、「バランス体操（ステップ動作）の重心移動はどのようにしたら上手くできるのか」、「体操のフォームがしっかりとできているか見て欲しい」等の一歩踏み込んだ内容の質問もあり、講演終了後もいろいろなご意見・ご質問をいただき、健康増進や転倒予防に対しては、非常に関心が高いのだと感じました。

地域の皆様と一緒にした 健康づくりを目指します

講演を終えて、地域の方々の転倒予防についての关心や需要は高い一方で、「どのようにしたら転倒を防げるのか」に対しての具体的な方法や知識の普及はまだ進んでいないところもあるように感じました。今後も今回のような転倒予防教室等を通じて情報を発信するなど、転倒予防について普及啓発を行い、地域と一緒にした住民の皆様の健康づくりに関わっていきたいと思います。

こんなことありませんか？



電源コードや
こたつ布団で
ひつかりませんか？



滑りやすいスリッパを
はいていませんか？

認知症カフェ

毎月第4日曜日
14時～16時
(問い合わせ先)
(0829)56-4580
望海の里



●片足立ちは両足立ちに比べて2.75倍の負荷がかかる。
●1分間片足立ち訓練=約53分間歩行に相当
(厚生労働省2006.8.29記事 阪本桂三、整形外科学)

$(\text{右足立ち } 1\text{分間} + \text{左足立ち } 1\text{分間}) \times \text{朝昼晩3回くり返す}$
= 1日分





お知らせ

令和元年10月1日より、
「Aコーポレーション望海の里」から
「医療法人ハートフル望海の里」に
変わりました。

アマノリハビリテーション病院

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時～12時	1 診	中島 康 内科・循環器科	菊地 由花 リハビリテーション科	山根 浩介 内科・放射線科	松本 彰紘 リハビリテーション科	山根 浩介 内科・放射線科	川上 恭司 循環器科
	2 診	—	—	—	—	大森 信忠 心療内科	—
	3 診	井口 純輔 リハビリテーション科	井口 純輔 リハビリテーション科	—	—	嘉村 雄飛 リハビリテーション科	—

あまのクリニック

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時～13時	1 診	串畠 重行 内科	串畠 重行 内科	串畠 重行 内科	串畠 重行 内科	—	—
	2 診	榎津 優 心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	—	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科
	小児	福田 純男 小児科	—	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科
午後 14時～17時	1 診	串畠 重行 内科	串畠 重行 内科	—	—	—	—
	2 診	福田 裕恭 内科・心療内科	—	—	福田 裕恭 内科・心療内科	—	福田 裕恭 内科・心療内科
	小児	福田 純男 小児科	—	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科

※急患はこの限りではありません。お気軽にお問い合わせのうえ、受診してください。※都合により、外来担当医が変更になる場合もございます。ご了承ください。

医療法人 ハートフル <http://www.amano-reha.com>

アマノリハビリテーション病院

廿日市市陽光台5-9
TEL.0829-37-0800

診療科目 内科・リハビリテーション科・神経科・心療内科・循環器科・皮膚科・小児科
診療時間 午前9時～12時
休診日 日曜・祝日

廿日市在宅総合ケアセンターあまの

廿日市市串戸5-1-37

在宅医療支援室 TEL.0829-31-5122
地域連携室 TEL.0829-31-5226

廿日市在宅総合ケアセンターあまのは、医療法人ハートフルの在宅医療、高齢福祉、障がい福祉サービス・施設の総称です

あまのクリニック 透所リハビリテーション 重度認知症患者デイケア

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5151代
診療科目 心療内科・内科・循環器科・リハビリテーション科・小児科
診療時間 午前9時～13時(受付は12時まで) 午後2時～5時
休診日 水曜(午後)・金曜(午後)・日曜・祝日

アマノ居宅介護支援事業所

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5213
電話対応可能時間 月曜～土曜 午前8時30分～午後5時30分

訪問看護ステーション ハートフルステーション あまの
廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5212
電話対応可能時間 月曜～土曜 午前8時30分～午後5時30分

介護付有料老人ホーム 望海の里
廿日市市宮島口東2-13-15 TEL.0829-56-4580

介護付有料老人ホーム カーサ ミーア
廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1133

児童発達支援センター おひさま
廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1166

あまのコミュニティーケアプラザ LaLa

あまの保育園

廿日市市串戸5-3-45 あまのコミュニティーケアプラザ内1F
TEL.0829-32-8800
電話対応可能時間 月曜～土曜
午前7時50分～午後6時30分

生活介護事業所 ハートフルあまの

廿日市市串戸5-3-45 あまのコミュニティーケアプラザ内2F
TEL.0829-31-5581
電話対応可能時間 日曜・祝日を除く
午前8時30分～午後5時30分

放課後等デイサービス オレンジ・スマiley

廿日市市串戸5-3-45 あまのコミュニティーケアプラザ内2F
TEL.0829-31-5582
電話対応可能時間 日曜・祝日を除く
午前8時30分～午後5時30分

高齢者デイサービスセンター ゆうゆうあまの

廿日市市串戸5-3-45 あまのコミュニティーケアプラザ内3F
TEL.0829-31-5588
電話対応可能時間 日曜を除く
午前8時30分～午後5時30分

あまの訪問看護ステーション

岩国市牛野谷町3-49-53
TEL.0827-32-6265

● 電話対応可能時間 月曜～土曜、祝日
● 午前9時～午後6時 ※緊急時は24時間対応

発行:医療法人 ハートフル

企画・編集:広報委員会

発行日:2019年11月18日 季刊誌